

シンボルマークとペットマーク大募集

専修大学は1880年(明治13年)に『専修学校』(専修大学の前身)として創立され、2004年(平成16年)9月16日に創立125年目を迎えます。これを契機に大学の強いオリジナリティーの確立と、それに伴う積極的なPRを推進するにあたり、21世紀ビジョンの『社会知性の開発』という大学のイメージと合わせ、「専修大学名ロゴマーク」「シンボルマーク」といった視覚的表現でも、大学の個性を発信していくことが求められています。

そこで、このたび「大学名ロゴマーク」を一新し(右)商標登録を行うとともに、これに合わせた「シンボルマーク」とマスコットとしての「ペットマーク」を募集します。

【専修大学新ロゴマーク】

専修大学
SENSHU UNIVERSITY

募集作品

①シンボルマーク

「シンボルマーク」とは、大学や企業などの団体や運動を象徴する図案の意味で、大学では「大学名ロゴマーク」とあわせて出版物や名刺、封筒、便箋、記念品などに利用されるほか、単独でも使用するオフィシャルマークとなります。

②ペットマーク

「ペットマーク」とは、大学や企業あるいは商品をイメージするキャラクター的な図案で、本学では学生の各種グッズや卒業生・受験生への記念品などにも使用するマスコットの存在となります。

応募要領

■応募内容

「シンボルマーク」「ペットマーク」とも一人各1点のみ。個人のほかグループでの応募もできます。作者は作品に関するコメントを添えてください。

■応募資格

本学の学生(大学院生含む)、卒業生、育友会員、教職員に限りです。

■作品テーマ

専修大学にふさわしいイメージを自由に表現してください。
※作品は未発表の創作原画に限ります。

■サイズほか

・A4版以内
・モノクロ・カラーとも可(立体・写真・コピー不可)。
※ただし、カラー作品は作者の指定色にならない場合もあります。

■応募方法

◎郵便番号、住所、氏名(フリガナ)、電話番号(自宅または携帯)、メールアドレス、応募の種類、作品に関するコメントを記入のうえ、持参または郵送ください。

◎学生・大学院生は学籍番号、卒業生は卒業年度と学部、育友会員は在学生氏名と学科を明記してください。

◎提出先

郵送 〒101-8425 東京都千代田区神田神保町3-8
専修大学広報課宛(郵便番号のみで住所表示不要)
持参 生田正門インフォメーション
神田1号館B1インフォメーション

■締切

2003年(平成15年)12月20日必着

■発表

選考委員会で選定し、「ニュース専修」「ホームページ」で発表します。

表彰

大賞:(各1名に)記念品と副賞30万円の旅行券

優秀賞：(各2名に)記念品と副賞5万円の旅行券

そのほか応募者の中から抽選で50名の方に記念品を差し上げます。

※発表、表彰は2003年度内を予定。

採用作品の著作権・使用权は学校法人専修大学に帰属します。

応募作品は返却できません。なお、応募作品が採用された場合でもデザイナーが調整する場合があります。

■ お問い合わせ

【広報課】

TEL 03-3265-5819

FAX 03-3265-0779

メール koho@acc.senshu-u.ac.jp

【ニュース専修10月号1面】

生田会館の外壁を改修 施設設備なども改善



▲外壁全面改修された生田会館



▲すっきりきれいになった生田キャンパスの掲示版



▲図書館神田分館の新入退館システム

夏期休暇期間に生田会館ほか教育環境改善に伴う諸工事が行われた。

生田キャンパスでは、生田会館が外壁全面改修＝写真上＝と屋上防水、テラス補強・タイル部分改修ですっきりリニューアル。4号館は2・3階18教室の全面改修と12教室に視聴覚設備が導入された。

神田キャンパスでは1・2・3号館の空調設備改修のほか、B1ホール空気清浄機設置、図書館入退館システム導入に伴う諸工事などが行われた。

図書館神田分館に新入退館システム

- ①入館するには身分証(学生証・教職員証・図書館利用カード)を入館ゲートに通してください。
- ②自由閲覧室以外でも、手荷物を持ったままの入館が可能になりました。

【ニュース専修10月号1面】

キャンパス探訪〈12〉 アートの旅

『南の島の風景』ほか



▲『歩行者天国』



▲『南の島の風景』

生田キャンパス4号館2階ロビーには、大田原祐二さんの油彩2点『南の島の風景』『歩行者天国シリーズ』がある。タイトルは異なるが、絵のモチーフは通い合う。

『南の島の風景』はビーチパラソルの下、強い日差しを避ける2人の若い女性。背景に碧空とコバルト色の海岸線。2人の赤と緑のワンピースが鮮やかだ。

『歩行者…』は「シリーズ」とあるから、連作の中の1点か。テーブルを囲む4人の女性群像。街角の点景だが、背後の建造物からは、中東あたりを思わせる。絵のタイトルにこだわる必要はないだろう。両作品には共通して「安らぎ」がある。椅子に座す人、立ち姿の人。清楚で、キャンパスに似つかわしい作品ではなかろうか。

【ニュース専修10月号1面】